

第3回 令和6年能登半島地震 道路復旧技術検討委員会 を開催します

令和6年能登半島地震にて甚大な被害を受けた能越自動車道^{わじま} 輪島
道路^{あなみず}・穴水道路、直轄権限代行区間等の早期復旧に向けた対策について、
9月20日からの記録的な大雨による被災状況も踏まえて、専門的な知識
を有する学識経験者等による検討を行い、復旧方法等について助言い
ただくことを目的に、第3回 令和6年能登半島地震道路復旧技術検討
委員会を開催します。

【開催概要】

- 日 時：令和6年11月20日（水）9時00分～11時00分
- 場 所：金沢河川国道事務所
2階 会議室 金沢市西念^{さいねん}4丁目23番5号
- 議 題：大雨被害を踏まえた国道249号沿岸部の復旧方法等

※会議資料及び開催結果については、委員会開催後、北陸地方整備局ホームページ
(<https://www.hrr.mlit.go.jp/bosai/R6noto.html>) への掲載を予定しています。

■報道関係のみなさまへ

委員会は非公開とさせていただきますが、委員会冒頭に写真撮影
の時間を設けます。また、委員会の開催後、委員長によるブリーフ
ィングを11時30分目途に予定しています。取材を申し込まれる場
合は、別紙にて予め登録をお願いします。

<記者発表先>

新潟県政記者クラブ、新県政記者クラブ、新潟県内専門紙、富山県政記者クラブ、
富山県内専門紙、石川県政記者クラブ、石川県内専門紙

■問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局 道路部

道路工事課長 岩崎^{いわさき} 義一^{よしかず} 電話：025-280-8880（代）

令和6年能登半島地震道路復旧技術検討委員会 構成員

(敬称略)

所属・役職	氏名	備考
金沢工業大学 金沢工大附置研究所 地域防災環境科学研究所 教授	川村 國夫	防災工学、トンネル、地盤災害、基礎・地盤工学
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長	桑原 正明	道路土工 (斜面、法面等)
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 橋梁研究室長	白戸 真大	橋梁全般
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 構造・基礎研究室長	藤田 智弘	道路基礎、トンネル
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路地震防災研究室長	上仙 靖	道路地震防災 (リスクアセス等)
土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員 (特命事項担当)	浅井 健一	土砂崩壊・地質
土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム 上席研究員	佐々木 哲也	盛土構造 (土質等)
土木研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム 上席研究員	日下 敦	トンネル全般
土木研究所 構造物メンテナンス研究センター (CAESAR) 橋梁構造研究グループ 上席研究員	大住 道生	橋梁耐震

○：委員長

事務局

北陸地方整備局道路部道路工事課
北陸地方整備局道路部道路管理課
北陸地方整備局金沢河川国道事務所
北陸地方整備局能登復興事務所
石川県土木部道路建設課
石川県土木部道路整備課
石川県中能登土木総合事務所
石川県奥能登土木総合事務所

取材登録書

第3回 令和6年能登半島地震道路復旧技術検討委員会

日時： 令和6年11月20日（水） 委員会 9：00～
ブリーフィング 11：30～

場所： 金沢河川国道事務所 2階会議室（金沢市西念^{さいねん}4丁目23番5号）

取材を希望される場合は、事前に本取材登録書を送付願います。

1. 取材者

報道機関名	
氏名	
連絡先	

2. 送付先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 計画課

Mail mizuno-r22ab@mlit.go.jp

FAX 076-233-9631

3. 問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

副所長 太田 峰誉

計画課長 水野 力斗

TEL 076-264-9912（代表）